

## 2012年度（平成24年度）事業報告

2012年度は新しい10年（結成50周年に向けて）の始まりの年であった。全腎協の新たな目的を掲げ、その実現のために長期的視点に基づき優先順位で活動を考え行ってきた。

### I 「患者中心の医療」の実現を

前年度の議論から、また、東日本大震災の支援活動をする中で、今後の透析医療の在り方、患者のあるべき姿が問われる時代が来たと考える。本年度は「患者中心の医療」の実現を目指す中で患者の在り方、あるべき姿、患者の自立・自律について考え取り組むことにした。

#### 1. 2012年度全腎協全国大会 in おかやま

開催日 2012年5月20日（日）

会 場 岡山市民会館

参加人数 1,457名

シンポジウム 「患者の時代、お任せ透析でいいんですか？」

座 長 全腎協会長 宮本高宏

シンポジスト 医療法人社団坂井瑠実クリニック理事長 坂井瑠実 先生

かわせみクリニック院長 鈴木一之 先生

松江腎クリニック院長 草刈万寿夫 先生

#### 2. 「透析患者憲章」（仮称）策定のためのプロジェクトチームの設置

#### 3. 「透析患者の行動選択に関する実態調査報告書」の発行

7月の事務局長会議でアンケート結果をもとに会員のニーズについて検討を行った。

##### ①2012年度全国事務局長会議

日 時 2012年7月7日（土）14：00～18：30・8日（日）9：00～12：30

会 場 新大阪ワシントンホテルプラザ

参加者数 i 都道府県組織 事務局長（代理） 39名

ii オブザーバー（石川県含む） 3名

iii 全腎協理事・監事 13名

iv 事務局 3名 計58名

#### 4. 第6回全国青年会議

「コミュニケーション能力を高めよう」

日 時 2012年8月25日（土）・26日（日）

会 場 ホテルサンルート有明

出 席 59名（部長49名 オブザーバー4名 理事・事務局6名）

### II 透析医療の確保、治療と生活の質的向上

透析患者にとっては各々に応じた医療とその医療を受けるための環境を確保することが必要

である。とりわけ高齢透析患者にとっては通院手段の確保、住環境の整備は急務である。今年度は医療環境の整備にも注力した。

## 1. 厚生労働省・国会等関係 要望・要請取組

### ① 辻厚生労働副大臣（当時）懇談

日 時 2012年4月6日

内 容 2012年度診療報酬改定内容について

### ② 民主党腎臓疾患対策議員連盟設立総会

日 時 2012年6月19日（火）

内 容 民主党議員により腎疾患対策議員連盟が設立された。これにより、従来の国会請願行動に加えて我々の要望を直接政府に伝える道ができた。

### ③ 牧野経済産業副大臣（当時）懇談

日 時 2012年7月27日（金）

内 容 計画停電について

### ④ JR 運賃等割引拡大要望

日 時 2012年8月7日（火）

内 容 各県組織と連携をしてJR各社に対して100km未満の単独乗車での運賃割引・特急料金の割引等を要請した。継続して要望していく。

### ⑤ 厚生労働省交渉

日 時 2012年8月21日（火）

内 容 2013年度の予算要望

### ⑥ 第42次「腎疾患総合対策の早期確立を要望する国会請願」のつどい

日 時 2013年3月21日（木） 場 所 参議院議員会館 1階 講堂

紹介議員 300名

つどい来場 議員 23名 ・ 秘書 63名

参加者 各 県 197名 ・ 理事 14名

監 事 1名 ・ 事務局 5名

請願筆数 908,722筆

請願募金 3,962,256円（2013年3月31日現在）

## 2. 災害対策について

### ① 2012年度全腎協全国大会 in おかやま

シンポジウム「阪神淡路・東日本ふたつの大震災を経験して」

座 長 全腎協副会長 吉村規男

シンポジスト 医療法人社団坂井瑠実クリニック理事長 坂井瑠実 先生

かわせみクリニック 院長 鈴木一之 先生

笛木内科医院 院長 笛木久雄 先生

宮城県腎臓病患者連絡協議会 副会長 邊見雄紀 氏

### ② 災害対策委員会を設置してDVDを制作した。

「自らの命を守るために」－今求められる透析患者の災害対策－

2013年全腎協全国大会 in みやぎ・仙台で発表する。

### ③災害対策委員会の開催

## 3. 相談事業

### ①無料電話相談

専門家による電話相談を行った。従来の生活相談・食事相談に加えて、年々多様化する相談内容に対応する一つの試みとして、本年度からは「こころの相談」を開始した。

i ソーシャルワーカーによる「生活・福祉」相談	・・・	92件
ii 管理栄養士による「食事・栄養」相談	・・・	113件
iii 認定心理士による「こころ」相談	・・・	29件
iv 事務局宛て電話・FAXによる相談	・・・	612件
v 事務局宛てメールによる相談	・・・	55件

### ②第14回相談員研修会

日 時 2012年11月3日(土)・4日(日)

会 場 大森東急イン

参 加 40組織 67名

「事務局相談員の役割と支援～ピアサポートを中心とした研修～」

事務局相談担当者の心構えや姿勢、また、事例の共有を基本から学び、各自の対応と振り返りの機会となるよう研修会を企画

## 4. 治療生活を高めるための取り組み

### ①楽しく作って、美味しく食べて、長生きできる透析食

第5回レシピコンテストの実施

i 主 催 バイエル薬品株式会社

ii 協 力 (社)全国腎臓病協議会

iii 募集期間 2012年6月1日～9月30日

iv 応募数 患者部門(15) サポート部門(24) 教育部門(130)

v 審査会 2012年12月11日

vi 表彰式 2013年3月10日(2013年5月18日 全国交流会で受賞者紹介)

※選考委員を務め審査に参加、表彰式に出席した。

### ②楽しく作って、美味しく食べて、長生きできる透析食

クッキング・セミナーの実施

i 共 催 (社)全国腎臓病協議会 開催地県組織 バイエル薬品株式会社

ii 開催地 青森県 奈良県 和歌山県 岡山県 鹿児島県

※各開催をサポート

### ③市民公開講座「おいしい透析食の工夫」

i 日 時 12月9日

ii 会 場 京都市勧業館 「みやこめっせ」

iii 共 催 (社)全国腎臓病協議会 京都腎臓病患者協議会 バイエル薬品株式会社

※共催団体を代表して、開催挨拶を行った。

### ④透析合併症対策講演会の開催

ー透析患者のフットケアと透析アミロイドーシス予防と治療ー

各開催共催：(社) 全国腎臓病協議会 開催地県組織 株式会社カネカメディックス

i 札幌地区講演会

日 時 9月23日 会 場 北海道自治労会館

ii 横浜地区講演会

日 時 9月30日 会 場 はまぎんホール ヴィアマーレ

iii 浜松地区講演会

日 時 10月14日 会 場 えんてつホール

iv 北九州地区講演会

日 時 11月11日 会 場 北九州市立商工貿易会館

※各開催共催団体を代表して挨拶、講演会座長を務めた。

⑤第3回透析のかゆみ川柳コンテストの実施

i 共 催 (社) 全国腎臓病協議会 鳥居薬品株式会社

ii 事務局 株式会社インフロント

iii 応募期間 2013年1月7日～2月28日

iv 応募数 1,740名 → 4,582作品

透析患者部門 (881名)・支援者部門 (421名)・医療従事者部門 (398名)・不明 (40名)

v 選考会 2013年3月24日

vi 表彰式 2013年5月19日「全腎協全国大会 in みやぎ・仙台」で

※コンテストを共催し、選考委員を務めた。

⑥透析のかゆみを考えるシンポジウムの開催

i 日 時 12月16日

ii 会 場 神戸国際会館

iii 共 催 (社) 全国腎臓病協議会 NPO 兵庫県腎友会 鳥居薬品株式会社

※共催団体を代表し開会挨拶、座長を務めた。

⑦腎臓病シンポジウム「腎臓病とともに」ー透析導入を遅らせるためにー

i 名古屋シンポジウム

日 時 11月18日 会 場 吹上ホール

ii 神戸シンポジウム

日 時 11月18日 会 場 チサンホテル神戸

iii 共 催 (社) 全国腎臓病協議会 キッセイ薬品工業株式会社

※共催団体として開会挨拶を行った。

⑧別冊がんサポート 最新・安心・良心のガイドブック

『ストップ!糖尿病・腎臓病』ー糖尿病・CKD (慢性腎臓病) から身を守るためにー

i 発行日 5月28日

ii 発 行 株式会社エビデンス社

iii 協力・推薦 (社) 全国腎臓病協議会

5. 腎臓移植の普及推進

①市民とともに考える「いのちの贈りもの」徳島臓器移植フォーラム 2012

日 時 2012年10月28日 (日)

場 所 とくぎんトモニプラザ 大会議室

参 加 190名（徳島大学76名、患者会70名、一般参加者等44名）

②えてがみコンテスト「いのちの贈りもの」

大切な命の贈り物が、新しい命へとつながっていく、善意による死後の臓器提供「いのちのリレー」について考える機会になることを願い実施した。

徳島県内全小中学校に応募用紙を配布し、小中学生からも多数作品応募をいただいた。また、日本臓器移植ネットワークを通じて都道府県の臓器移植担当課、バンクにも応募用紙を配布いただいた。

応募総数 444件

③移植対策委員会の開催

第1回（5/12 事務局）第2回（7/14 高岡市）第3回（9/29 徳島市）

第4回（11/24 事務局）

6. 再生医療の情報収集

①『ぜんじんきょう』No.253にて京都大学 i P S細胞研究所 腎臓・肝臓・膵臓再生研究グループの長船健二准教授の協力を得て i P S細胞の特集を掲載した。

7. 慢性腎臓病（CKD）対策

①第19回腎不全対策キャンペーン講演会

日 時 8月26日

会 場 名古屋市 今池ガスビル

主 催 名古屋臨床疫学研究会 （社）全国腎臓病協議会 （社）愛知県腎臓病協議会

後 援 愛知県 名古屋市 愛知県医師会 （財）日本腎臓財団

※主催団体として開会挨拶を行った。

②世界腎臓デーに合わせたCKD啓発イベント

「ストップ・ザ・腎不全：～CKD啓発活動とチーム医療～」

日 時 2013年3月3日（日）

会 場 東京ガーデンパレス

共 催 （公財）日本腎臓財団 日本慢性腎臓病対策協議会

後 援 厚生労働省 日本医師会 （社）全国腎臓病協議会 他

※後援団体として挨拶を行った。

③慢性腎臓病（CKD）シンポジウム～あなたの腎臓だいじょうぶ？～

日 時 2013年3月16日（土）

場 所 東京フォーラム

主 催 厚生労働省

後 援 （社）日本腎臓学会 （公財）日本腎臓財団 （社）全国腎臓病協議会

日本慢性腎臓病対策協議会 他

※「患者の体験から」として発表を行った。

④市民公開講座「ストップ・ザ・慢性腎臓病～あなたの腎臓、大丈夫？～」

日 時 2013年3月20日（水）

場 所 しずぎんホール

主 催 静岡新聞社 静岡放送

共 催 (社)全国腎臓病協議会 静岡県腎友会 中外製薬株式会社

後 援 静岡県 静岡市 日本内科学会 日本透析医学会 他

※「腎不全患者の立場から」挨拶・発表を行った。

### Ⅲ 調査研究と政策提言

政策的課題については、政策委員会を中心に研究・討議を重ね、個別課題については、東西ワーキンググループを設けて、地域の実情を反映させながら議論を深めた。適時、政策的課題と全腎協の取り組みについては、速報性を第一に考えて「ニューズレター」形式で、各県組織への配信を行った。

透析患者の通院対策については、委員会を中心に各地域事例を中心としたマニュアルを継続制作・発行した。同時に、全国的に先進的な取り組みをしている施設視察等を実施し、今後の対策の具体化に繋がる準備を行った。

高齢者対策PTについては、政策委員会の課題と繋がる部分もあり、今後の透析患者の治療と住環境の確保のための討議を行い、具体的実践については、次年度の事業計画に繋げている。

#### 1. 政策委員会

年間12回の政策委員会を開催した。また、全国を東と西に分けたワーキンググループを設置し各々の課題に取り組んだ。

#### 2. 通院対策委員会

透析患者の高齢化、糖尿病性腎症患者の増加にともない、通院対策が更に重要な課題となってきた。一方合併症の進行等により通院自体が困難な患者への取り組みも急務であり、委員会として次の3項目を年度目標として通院対策に取り組んだ。

- ①透析患者の通院・入所・在宅治療の現状について調査を行う
- ②各地域の状況に対応した通院送迎対策に取り組む
- ③情報収集と情報発信に取り組む

入所・在宅治療については、下期より、今年度立ち上げた「高齢透析患者の通院・入所・在宅治療に関するプロジェクトチーム」に引き継ぎ取り組むこととした。

今年度の取り組みでは「情報収集と情報発信」について、特に全腎協からの情報発信が出来ず、改善に取り組んでいく。

委員会活動は、以下の通り。

- ・第1回委員会 4月6日(木)
- ・第2回委員会 5月22日(火)
- ・第3回委員会 6月19日(火)

高齢者専用賃貸住宅「つくしんぼ」壺番館、式番館 デイサービス「はまゆう」施設 見学

- ・伊豆大島町長との面談 7月19日(木)  
島内の透析患者の通院送迎への支援要請
- ・第4回委員会 7月24日(火)  
医療法人社団星晶会

透析施設、介護老人保健施設、高専賃（サ高住）、在宅透析の実施状況等を見学

- ・第5回委員会 8月28日（火）
- ・第6回委員会 9月20日（木）
- ・第7回委員会 10月30日（火）
- ・医療法人社団 清光会 11月27日（火）  
センペル逗子クリニック、介護老人保健施設セアラ逗子、グループホームはなもも  
神奈川県腎友会と合同施設見学
- ・第8回委員会 12月18日（火）

### 3. 2011年度血液透析患者実態調査報告書の発行

2011年に実施したアンケートの集計、分析をして報告書を作成した。要約したものを『ぜんじんきょう』No.255で特集し掲載した。

### 4. 高齢透析患者の通院・入所・在宅治療に関するプロジェクトチーム

新たなプロジェクトチームを設置して高齢透析患者の治療と生活の場所の確保についての支援と制度設計について検討した。

委員会活動は、以下の通り。

- ・第1回PT会議 10月25日（木）
- ・第2回PT会議 11月20日（火）
- ・第3回PT会議 2月26日（火）

## IV 情報発信による会員・患者の治療意識の向上と全腎協組織の認知度向上

広報活動として会報の定期発行を中心に、その時期に応じた情報提供を行ってきた。「声の会報」は、現状に応じてテープからCD化を決定し、No.256から実施した。

各調査・研究事業で得た調査結果と全腎協としての見解・取り組みについては、記者発表及びプレスセミナーとして発表し、会員・患者が、全腎協が抱えている課題・現状について「社会化」することになったことは有効であった。同時に、全腎協の認知度向上に繋がる取り組みとなった。

### 1. 会報『ぜんじんきょう』の発行

①年6回の発行No.251～No.256

- |                         |                              |
|-------------------------|------------------------------|
| No.251 診療報酬・介護報酬同時改定    | No.252 2012年度全腎協全国大会 in おかやま |
| No.253 再生医療の現状と可能性      | No.254 透析患者の海外旅行             |
| No.255 2011年度血液透析患者実態調査 | No.256 透析患者の食事と栄養            |

②「声の会報」のCD化

No.256より「声の会報」をCD化した。

### 2. ホームページ

リニューアルは次年度への持越しになった。

### 3. ニュースレターの配信

最新の情報を加盟県組織へ配信した。2012年度は11号のニュースレターを配信した。

#### 4. プレスリリース

- ①2012 年度全腎協全国大会 in おかやま
  - i 厚生労働省記者発表 (5/8 厚労省記者クラブ)
  - ii 岡山県記者発表 (5/10 岡山県庁記者クラブ)
- ②透析医療に関する調査結果プレスセミナー
  - i 日 時 5月31日
  - ii 会 場 トラストシティ カンファレンス・丸の内
  - iii 共 催 バイエル薬品株式会社
- ③透析患者の行動選択に関する実態調査結果記者発表
  - i 日 時 6月14日
  - ii 会 場 厚生労働省記者クラブ
  - iii 共 催 透析患者の行動選択に関する調査委員会
- ④2011 年度血液透析患者実態調査結果記者発表
  - i 日 時 2013 年1月30日
  - ii 会 場 厚生労働省記者クラブ

#### V 組織的課題

2012 年度、永年の組織的な課題としてきた石川県腎友会の全腎協加盟が実現した。石川県腎友会の組織的討議と判断に敬意を表したい。

東日本大震災による被災県組織への支援を継続して実施するとともに、個別組織対策としては、青森県腎友会の一部地域内透析施設訪問・懇談を組織対策委員会が直接行った。具体的成果には繋がっていないが、次年度継続的に取り組む必要がある。

会員拡大を中心とした組織強化の取り組みは、各県組織が地域実情に基づき創意工夫をして行ってきたが、会員数の増加・組織率の向上には繋がっていない。全国レベルでの根本的討議と、行動提起が求められている。

##### 1. 石川県腎友会の加盟

第 49 回通常総会で石川県腎友会の加盟が承認され、全国 47 都道府県の患者組織が加盟する組織になった。

##### 2. 加盟組織と連携した組織強化対策

被災県組織への組織的支援

- i 現地対策本部を継続して支援
- ii 2012 年度全腎協全国大会 in おかやまにて義援金募金を実施

個別県組織対策

- i 福島県腎臓病協議会の会費免除の継続

##### 3. 組織移行

一般社団への移行については、期限が限られている中で、緊急かつ重要な取り組みである。定款、定款施行細則及び諸規定について総会での承認を受け、申請に向けた書類の整備の後、



申請手続きを行う。

#### 4. 組織強化対策

i 青森県腎臓病患者連絡協議会との懇談

日 時 8月2日(木)・3日(金)

出席 馬上副会長 鈴木理事

内 容 八戸市内透析施設訪問 他

ii 入会案内リーフレット

入会案内のリーフレットとポスターを作成し全県に配付した。

iii 透析をはじめめる人のガイドブック改訂第11版

『透析をはじめめる人のガイドブック』をリニューアルし、最新の内容に更新した。

#### 5. 各種会議の開催

##### ①総会

i 第48回通常総会

日 時 5月19日 会 場 ホテルグランヴィア岡山

内 容 2011年度事業・決算報告 法人移行にともなう規約改正 他

ii 第49回通常総会

日 時 10月21・22日 会 場 大森東急イン

内 容 石川県腎友会加盟について 一般社団法人定款 他

iii 第50回通常総会

日 時 2013年3月2・3日 会 場 大森東急イン

内 容 2013年度事業計画・予算(案) 2013/14年度役員候補者(案) 他

##### ②理事会

i 第98回通常理事会 4月7・8日

ii 第99回通常理事会 6月9・10日

iii 第100回通常理事会 9月8・9日

iv 第101回通常理事会 11月17・18日

v 第102回通常理事会 2013年1月12・13日

vi 2013/2/2・3臨時理事会 2013年2月2・3日

vii 第103回通常理事会 2013年2月16・17日

#### 6. 関係学会等への参加・連携事業

##### ①(社)日本透析医学会

i 正会員登録 会長 副会長 常務理事 事務局長

ii 第57回学術集会・総会への参加

日 時 6月22日～24日 会 場 京王プラザホテル札幌 他

※ランチョンセミナーでの発表を行った。

##### ②(社)日本透析医会

i 懇談会の実施

日 時 6月15日 会 場 ホテルマイステイズ御茶ノ水

内 容 2012年度診療報酬改定 東日本大震災 腎疾患議連 他

③ (社) 日本腎臓学会

i 第42回東部学術大会への参加

日 時 10月13日 会 場 新潟市 朱鷺メッセ

内 容 男女共同参画委員会企画で発表を行った。

④ 日本慢性腎臓病対策協議会

i CKD 関連事業の連携 (別掲) 事業を行った。

⑤ 日本腎不全看護学会

i 第15回学術集会・総会への参加

日 時 12月1・2日 会 場 愛媛県県民文化会館

※スイーツセミナーでの発表を行った。

ii 懇談会の実施

日 時 2013年1月31日 会 場 TKP 東京駅ビジネスセンター1号館

内 容 次期診療報酬改定 透析見合わせ (案) 高齢透析患者 他

⑥ (公財) 日本腎臓財団

i 40周年記念式典への出席 (9月1日 銀行倶楽部)

⑦ (社) 日本臓器移植ネットワーク

i 役員派遣等 正会員登録 東日本支部運営委員 広報委員

ii 通常総会への出席 (6月27日 2013年3月22日)

iii 東日本支部運営委員会への出席

iv 広報委員会への出席 (7月31日 2013年3月21日)

7. 関係団体への参加・連携事業

① 日本難病・疾病団体協議会 (JPA)

i 役員派遣等 理事 幹事 評議員

ii 難病対策・施策に対する協働取組を行った。

② 日本障害者協議会 (JD)

i 役員派遣等 理事 協議委員

ii 障害者施策に関する協働取組を行った。

③ 日本製薬工業協会

i 患者団体アドバイザリーボードへの参加

・第5回 (6月5日 製薬協本部) ・第6回 (9月26日 製薬協本部)

・第7回 (2013年1月29日 製薬協本部)

ii 第23回製薬協患者団体セミナーへの参加

日 時 11月20日 会 場 大阪第一ホテル

内 容 「患者が求める医薬品の情報提供について」を発表した。

④ 受療者医療保険学術連合会

i 役員派遣等 副会長

ii 国民皆保険制度、診療報酬改定等に対して、患者 (当事者) ・医療者が意見交換し、今後の協働取組について協議した。